

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年12月7日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【構内駐車場における車両接触について】 協力企業作業員が構内駐車場に業務車を一時停車させ降車したところ、業務車が動き出し、前方にあった電源ボックスに接触。 原因は、サイドブレーキをかけたものの、シフトレバーを操作したと思い込み、「D」レンジのまま降車したことによる。単独の乗車であり、本人にけがはなし。 また、電源ボックスの保護カバーに歪みを確認したが、設備機能には問題なし。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	12月1日
2	<p>【プロセス主建屋の造粒固化体貯槽排気ロダストサンプラの停止について】 協力企業作業員がプロセス主建屋の造粒固化体貯槽排気ロダストサンプラの試料回収を実施したところ、現場盤の流量異常のランプが点灯し、ダストサンプラの試料採取ポンプが停止していることを確認。 調査の結果、流量計の故障によるポンプ停止と推定。 停止中は、別のダストサンプラによりサンプリングを実施するため問題なし。 今後、当該ダストサンプラを交換予定。</p>	GⅢ	12月3日
3	<p>【共用プール冷却浄化系ポンプ(A)吐出逆止弁の開固着について】 当直員が共用プール冷却浄化系ポンプの定例切替の際、ポンプ(A)の吐出逆止弁の開固着を確認。 共用プール冷却浄化系ポンプ(B)(C)が運転可能なため、プール冷却に問題なし。 今後、当該弁を分解点検予定。</p>	GⅢ	12月3日
4	<p>【地下水バイパス設備排水監視用Webカメラの不良について】 当直員が電源設備の作業終了後、地下水バイパス設備排水監視用Webカメラの電源を投入したが、カメラが動作しないことを確認。 排水時は直接目視確認をしており、排水には問題なし。 今後、原因を調査し、カメラを交換予定。</p>	GⅢ	12月4日